

# 「ほっとルーム」だより



第119号 平成30年 7月2日発行  
いちき串木野市家庭教育支援連絡協議会  
(教育委員会 社会教育課内 TEL 21-5130)

7月は、**照島小学校**で

「おあしす」を開設します。



7月6日(金)に、照島小学校で「おあしす」を開設します。家庭訪問をする1・2年生の長子家庭だけでなく、他の学年の御家庭の方々ともお話ができればありがたいです。お茶の準備をしてお待ちしております。

お気軽にお立ち寄りください。

- 出前サロン開設日時 **7月6日(金)** (午後2時～4時45分)
- 出前サロン「おあしす」の場所 **PTA会議室**

## 家庭教育について提言をいただきました。

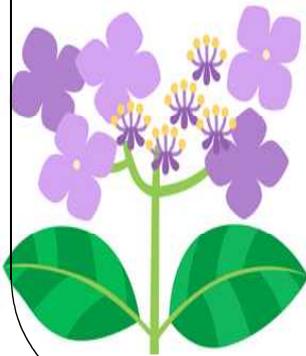
有限会社ウチムラ代表取締役 **西 蘭 修 一**

「多少勉強ができなくても、人間は素直が一番だ」と、私の父が生前、よく語ってくれました。

人と接するとき素直な人というのは、好かれます。私自身もそう思っています。子どもの心はとても素直ですが、大人になるにしたがって素直さがなくなってしまい、自分自身、子どもと接する時に気づかされることが多々あります。

「ありがとう」「ごめんなさい」この二つの言葉が素直に出てくる人は、接していても気持ちがいいですし、子どもには、そう言ってきているものの、果たして、今の自分が素直に言えているかと反省です。

「ありがとう」と「ごめんなさい」



子育ての中で、気になること等があったら、一人で悩まず、いつでも気軽にご相談ください。一緒に語りましょう。

ほっとルーム : 教育委員会 社会教育課内  
TEL 21-5130 : FAX 36-5044

※ ご希望があれば、長子に限らず、**どの学年でも**訪問いたします。

## いつも身近に1冊の本を

「毎月23日は、子どもといっしょに読書の日」

「本は感動の扉をひらく」「読書は心の食事」「読書は心の深呼吸」など、読書のすばらしさが言われています。また、「いつも身近に一冊の本を」というキャッチフレーズで、全国的に読書運動が進められています。

市内の小学校でも、保護者を中心に構成された読み聞かせグループがあり、朝の時間や昼休みを使って読み聞かせが行われています。子ども達は、お話の世界に浸って熱心に聞き入っています。また、メンバーが集まると、読み聞かせの情報だけでなく、子育ての情報交換の場にもなっているようです。

家庭でも、子どもと話し合っ、テレビやゲームを消し、親子で一緒に読書したり、読み聞かせをしてあげるなど、子どもが本に親しむ環境を作ってみてはいかがでしょうか。



話に聞き入る子どもたち(照小)

お勧めの本です。親子で読んでみませんか。

【低学年用】

新世界へ

あべ 弘士：作絵  
(偕成社)



【中学年用】  
地球をほる

川端 誠：作絵  
(BL出版)



【高学年用】

ヤクーバとライオン(1)勇気

ティエリー・テデュー：作絵  
柳田邦男：訳(講談社)



どの草も  
どの草も  
ぬきとると  
自分自身の 香りをもつ  
  
かやつりは かやつりの  
どくだみは どくだみの

宇野修一著  
「樹に咲く花にきく」より

子どもには  
できる子とできない子が  
いるのではなく  
はやくできる子と  
ゆっくりできる子が  
いるだけなのです

広木克行著  
「子どもは紫の露草」より

